

アンケート調査協力回答者（助成金対象者用）

※ 助成金対象者は6ヶ月以上与論町に住んでおり、①若者：年度当初時点で18歳以上（高校生を除く）35歳以下の男女若しくは、②子育て世帯：与論高校生以下の年齢の島内に住んでいる扶養児童がいる世帯。利用上限は若者1人2回。もしくは年度当初において年齢が36歳以上となる扶養者が片方のみ、もしくは両方が36歳以上の子育て世帯において1世帯2回まで。どちらか一方での利用とし、重複しての利用は出来ません。

例：夫が35歳、妻が35歳の子育て世帯で、はじめに若者として利用した場合はその世帯は若者としてのみ利用が可能（夫2回、妻2回）。はじめに子育て世帯として利用した場合は子育て世帯の上限2回となります。

※ 本アンケートは集計し役場内外への需要に対する根拠資料として活用されますが、住所氏名など個人が特定される形で集計はされることはありません。

※ 本アンケート調査にご協力いただき、助成金を受ける方は対象資格の確認のため個人情報保護法及び住民基本台帳法による定住年月日、年齢及び世帯の確認等に同意されたものとみなします。

(←チェック) 上記※各項目について確認し同意しました。

↓チェック☑

住所：大島郡与論町

若者としての回答

氏名：_____ 年齢：_____

子育て世帯としての回答

連絡先：_____ eMail：_____

職種：_____（下記から選択し番号を記入）

職種：①農業・林業、②漁業、③建設業、④医療・福祉業、⑤製造業、⑥電気・ガス・水道業、⑦情報通信業、⑧運送・郵便業、⑨小売・卸売業、⑩金融・保険業、⑪不動産・リース業、⑫宿泊・サービス業、⑬学術研究・専門技術サービス業、⑭生活関連サービス・娯楽業、⑮教育・学習支援業、⑯複合サービス業、⑰サービス業、⑱公務職、⑲その他分類不能の業態

はじめに

※ 通帳の写し「表と見開き1ページ目」を提出ください。可能な限り町指定金融機関「あまみ農協」口座をお願いします。すでに水道料金引き落とし口座など登録されている口座を振込指定口座とする場合は写しの提出は不要です。

※ [＜与論→沖縄→与論＞間の車両(往復)及び貨物輸送の領収書の写しを添付してください。それぞれ100円未満を切り捨てた半額を、協力助成金としてご指定の口座に振り込みます。

（ 上限：車両往復 15,000 円/回 、 貨物往復若しくは片道 15,000 円/回 ）

※ 同意書及びアンケート記載の訪問先（Q3、Q4）の滞在を証明する宿泊施設などの領収書などの写しを1つ添付してください。（Q5の設問）

Q14. あなたは次の地域について生活圏※であると考えていますか。生活圏※と感じている地域があれば○を入れてください。

沖縄本島【 】 沖永良部島【 】 徳之島【 】 奄美大島【 】 鹿児島本土【 】

※医療・娯楽・買い物など日常生活のうえで行政区画に関係なく密接に関係している範囲。

Q15. 次のうち、与論で生活するうえで常時軽減されるとうれしい項目を1つ選んでください。

回答【 】

- ①沖縄への航空運賃 ②鹿児島・奄美大島への航空運賃 ③沖縄への船舶車両航送運賃
④鹿児島・奄美群島への船舶車両航送運賃 ⑤沖縄での宿泊費 ⑥鹿児島での宿泊費

Q16. 島外への旅行において、多くの若者が航送料の他に負担に感じていると予想するもの上位3つを選んで○をつけてください。

移動先の港・空港から目的地までの移動時間【 】 船代・飛行機代・バス代など【 】
フェリーの移動時間【 】 宿泊に費やさなければならない時間【 】 宿泊費用【 】
買い物やレジャーに費やす費用【 】 船や飛行機の設備・機能【 】 情報の不足【 】
天候による欠航・抜港【 】 仕事の調整を行う手間【 】 親や配偶者・子供の調整【 】
準備などの手間【 】 旅行前や帰る時の焦燥感【 】 外泊することの身体的負担【 】
知らない人に会う不安【 】 他人に旅行を聞かれる煩わしさ【 】 家を空ける不安【 】

■■■■■ その他 ■■■■■

Q17. 近年ほかの自治体では、結婚や恋愛についてマッチングアプリを用いた行政支援が行われるようになってきました。本町にとって同じく利用する場合に課題となるものを次のうちから3項目を選び○をつけてください。

コーディネーターの不足【 】 アプリ登録費用【 】 支援及び運営団体の不在【 】
島外へ参加する場合の旅費【 】 来島いただく場合の旅費【 】 イベント開催の費用【 】
若者の人数が少ないこと【 】 若者が参加しようとする意識【 】 秘匿性の確保【 】

Q18. 人口約5,000人（うち0-4歳180人、5-19歳700人、20-35歳330人、面積4km×5km）の与論島で、島の生活がより魅力的になると思うご提案を一つご記入ください。（任意回答）

自由記入

参考

島外チャレンジ補助金、2拠点居住支援金、教育支援、旅費全般軽減、島外教育機会
コンビニ、旅行代理店、屋内アスレチックパーク、避難・防災施設、〇〇研究所
学生寮、団地、大型DIYセンター